

南っ子だより

三国南小学校

第 29 号

令和4年3月18日発行



3月15日 卒業式が行われました



3月15日（火）、令和3年度の卒業式が行われました。夜中の雨風から一転して青空も広がるとても穏やかな日になりました。新型コロナウイルスの影響が心配されましたが、6年生32名全員が揃って出席することができました。式のはじめにスクリーンに「思い出のアルバム」が映し出されました。そして、いよいよ卒業生の入場、感染症対策のため、声を出せない卒業式でしたが、在校生は精一杯の大きな拍手で6年生を迎えました。6年生は緊張しながらも胸を張って入場しました。6年生が1人1人卒業証書を授与している様子を目に焼き付けようと見つめている在校生の姿がとても印象的でした。在校生はとても姿勢がよく、厳粛な卒業式を理解している様子が伝わってきました。5年生の代表の送る言葉もとても立



派でした。来賓の方からもお祝いの言葉を頂きました。最後は卒業生退場。6年生は、涙をぬぐいながら、この学び舎を巣立っていきました。6年生が卒業して寂しくなりましたが、在校生のみなさんには、受け取ったバトンをしっかりとつないでいってほしいと思います。



5年生が坂井市役所で、オリジナル和菓子の出張販売



5年生は、自分たちが作ったもち米を使って、三国の魅力を詰め込んだオリジナル和菓子を考案しました。3月16日「いまで湊花堂」さんの協力を得て、商品化した羽二重餅を坂井市役所で販売しました。商品は2種類です。三国産のもみわかめを混ぜ込んだ「南小わかめもち」、わかめもちに加え、みくに花火をイメージしたカラフルなキューブ型のもち、くるみを混ぜ入れて東尋坊を表現したココア味のもち、南小名物の桜をイメージした桜あんこいりもちの4個セットの「みくにをぎゅっとつめました!」。南小のはっぴを身にまとった5年生が、3つのチームに分かれて市役所の昼休みに合わせて販売しました。市長さん、副市長さん、教育長さんに表敬販売するチーム。市長さんからは、「柔らかくて美味しい!」と言ってもらいました。たくさん買って頂きました。また、4階フロアを販売して歩くチーム。上手に商品の魅力を説明しました。市役所談話室での販売ブースを設けたチーム。あっという間に行列ができる盛況ぶりでした。用意した2種類合わせて250個の羽二重餅セットは、わずか30分で完売しました。お米の栽培から商品開発、ネーミング、パッケージのデザイン、看板の作成、そして、販売と、多くの方の協力を得て貴重な体験をすることができました。



3年生は、味噌造りに挑戦しました

3月8日、3年生は「食改」の方の指導のもと、味噌造りをしました。大豆をつぶして、糀と混ぜました。そして丸めた味噌玉を、空気を抜くために味噌瓶に投げつけました。これから秘密の場所で長期間の保存です。まさに「すがたを変える大豆」、お味噌としてできあがるのは、11月頃の様です。どんな味になるのか今から楽しみです。

